

グループホームほうじょう運営推進会議 報告書

開催日	令和6年5月16日（木）			
開催場所	グループホームほうじょう リビング			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	入居者の家族	1名	行政（北栄町福祉課）	1名
	地域住民の代表	2名	知見を有する者	1名
事業所出席者	施設長		管理者	
	グループホーム入居者代表			

<状況報告>（令和6年4月～令和6年5月）

入居者の状況	入居人数（4月：18名 5月：18名）			
	男性（2名）女性（16名）			
	要介護1（3名） 要介護2（9名） 要介護3（3名） 要介護4（3名） 要介護5（0名）平均要介護度（2.33）			
	年齢（平均89.5歳）		（最高100歳）	

<近況報告>4/1～5/16

行事関連報告

日付	内容
4/6（土）	花見ドライブ 伯耆しあわせの郷、絵下谷川沿いの桜見学。きれいで良かったと喜ばれる。
4/13（土）	花まつり お堂にお参りする。法林寺、上杉住職よりお釈迦様の紙芝居あり。 甘茶をいただく。
4/13（土）	にぎり寿司テイクアウト（スシロー）
4/15（月）	喫茶花束、オカリナ演奏、ケーキ、コーヒーや紅茶をいただきながら、オカリナ演奏を聴く。リズムとったり、一緒に口ずさんだりして楽しまれた。
4/16（火）	ヴィオラ演奏 北栄町出身ヴィオラ演奏奏者 生原様 馴染みの曲やクラシックを披露される。心に染みると感動される。
4/21（日）	おやつ 桜もちづくり 生地を混ぜたり、あんこを丸める作業を一緒に行う。 美味しいですと喜ばれる。
4/23（火）	訪問散髪
4/28（日）	れんげ村 誕生会 4月生まれ2名あり。皆で祝う。 みやこ村 オープンカフェ 全員でつつじを眺めながらお茶やケーキをいただく。

	各階で住民集会を行い、ご利用者の意見や要望を聞き取る。
5/9 (木)	読み語り
5/11 (土)	にぎり寿司 (スシロー)
5/12 (日)	おやつ作り (よもぎ餅)
5/14 (火)	面前調理 天丼

<研修、その他>

(4/1~5/16)

日付	内容
4/1 (月)	医師紹介式 (オンライン) 着任式
4/18 (木)	環境整備の日 職員、ご利用者合同で草取りなどを行う。
4/22 (月)	介護ラダーⅢ研修 (10年以上の職員) 2名参加
5/1 (水)	北栄町認知症ケア向上連絡会代表者会 今年度の予定確認。
5/7 (火) ~5/9 (木)	防災設備機器の説明
5/9 (木)	感染対策実施ラウンド
5/13 (月)	介護ラダーⅡ研修 (5年~9年目) 1名参加
5/14 (火)	環境整備の日 職員、ご利用者合同で草取りなどを行う。

<事故報告>4/1~5/16

(4月) 5件

介護度 3、年齢 88 歳 発見時刻 7:38 (みやこ村)	
内容	居室より「あー」と声がし訪室するとベッド横床に長座位になっているのを発見。 外傷等なし。
原因	<ul style="list-style-type: none"> 見守りセンサー映像確認。一度窓をのぞき込み方向転換時にバランスを崩し転倒。 起床時通知あり確認はしているが、自立での歩行であり途中で離れてしまった。 普段よりひざ痛あり、起床時は特に身体の痛みがあることからふらつき危険あり。
対策	<ul style="list-style-type: none"> 身体状態を確認しながら、起床時は見守りを行い食堂まで案内を行う。 リハビリ職員に再度ベッド高さの調整など環境評価を行う。

介護度 3、年齢 88 歳 発見時刻 16:20 (みやこ村)	
内容	通所職員退勤時、施設前の道路で川を眺めているところを発見する。
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食後に換気の為フロアの窓を少し開けていたが夕方まで開けたままになっていた。 ・以前にも離設があったため窓は全開にならないようにストッパーを取り付けていた。換気した職員はその場を離れる為別の職員に換気の件を伝えていた。その為換気した職員は閉まっているものと思っていた。又伝えられた職員はストッパーがあることから油断し窓は一部開けたままになっていた。 <p>離設発見後に確認すると、ストッパーはずれてしまっており、人が通り抜け出来る状態となっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中帰宅願望あり散歩の声掛けはしていたが、本人は散歩はせん。と外に出る事を断っていたため油断してしまっていた。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア窓の換気は、一定の時間でやめ再度 2 重ロックを行う。 ・換気の際は職員間で共有し、戸締りを忘れないように連携する。又換気チェック表記入時に戸締り確認を行う。 ・本人の出来る事の役割や楽しみの支援を行い気分転換を図る。外に出る際の声掛けの工夫。 <p>(モップ掃除、はさみ使用しメモ紙切り、新聞整理、将棋、施設前の川で魚を見るのが好き)</p>
介護度 2 年齢 80 歳 発見時刻 12:00 (みやこ村)	
内容	昼食時、他利用者の昼食後薬 (マグミット) を誤薬したことに内服介助を行った職員が気付く。
原因	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬介助した職員が異動してきた職員だったこともあり、思い込みで他利用者と間違えてしまった。また、与薬の手順が正確に行えていなかった。 ・他職員は薬袋の名前、日付までは一緒に確認を行ったが、食事介助中で服薬介助に付き添わなかった為間違いに気づけなかった。 <p>昼の内服対象者は 1 人のみで大丈夫であると思い込んでしまった。</p>
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬手順のマニュアルを確認する。 ・与薬時は、与薬の手順を行った後、利用者にも必ず名前の確認を行い、名前と本人が一致したのを確認してから内服していただく。 ・慣れるまでは、他職員が間違いがないか介助方法の確認を行う。

介護度 4 年齢 91 歳 発見時刻 0:10 (れんげ村)	
内容	見守りセンサーマット通知あり。訪室すると裸足で歩いている。床に血が付き、右足第 4 趾の爪が取れかかっている所から出血しているのを発見する。
原因	<ul style="list-style-type: none"> • 足の爪が伸びていた。 • 帰りたい思いが増え行動が活発で倉吉病院受診し薬を調整中。寝る前の薬が増えており、立位と歩行不安定でテーブルかポータブルトイレに右足をぶつけてしまったと考えられる。
対策	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に爪切りを行う。 • テーブルとポータブルトイレの足部分を保護する。
介護度 4 年齢 91 歳 発見時刻 8:50 (れんげ村)	
内容	居室へ訪室した際、ベッド頭側の床に表面が溶けた就寝薬 2 錠が落ちているのを発見する。
原因	<ul style="list-style-type: none"> • 与薬者は口に入れるのは確認したが、飲めただろうと思い飲み込みの確認が不十分であった。薬の表面が溶けており、後で吐き出したと思われる。 • レビー小体型認知症あり幻視、幻覚症状、混乱が出現することも多く就寝薬服用の際、拒薬や、口に含んだ薬を異物と誤認し吐き出す事が何度かあった。当日はスムーズに服薬できたとの事だったが情緒面の不安定、口腔内の異物感等から吐き出した可能性も考えられる。
対策	<ul style="list-style-type: none"> • 与薬手順のマニュアルを確認する。 • 与薬時の利用者の状態をしっかりと観察し服薬介助を行う。 (状態に応じ主治医と相談し薬の量の調整を行う。現在減量となっている。)

(5月) 2件

介護度 4 年齢 91 歳、発生時刻 6:50 (れんげ村)	
内容	ヒトメクセンサーマット通知あり。訪室するとタンスより衣類を引き出そうとしている。下部から衣類を取る為低い姿勢になったので手を差し出したが間に合わずにしりもちをついた。
原因	夜間帯に混乱、帰宅願望があった。何度も起き上がりあり不眠傾向だった。 ②骨盤骨折の既往あり、以前は膝痛もあった。タンスの上に置いている物を気にする言動見られる事あり。タンスから衣類を出そうとして低い姿勢を取った事でバランスを崩した。 ③センサーマット通知あり訪室し対応中であつたが、認知症の進行に伴い介入に抵抗や拒否があり、少し離れた場所で見守りをしていた。
対策	・主治医指示のもと、内服調整し経過観察する（現在就寝時にクエチアピン錠服薬中）。 ※4/11～クエチアピン錠 37.5 mg服薬していたが、主治医指示のもと 4/29～クエチアピン錠 25 mgに減薬し経過観察中。 ・リハビリ職員に相談のもと環境整備し様子観察を行う。 （環境整備、動作確認等評価。） ・本人のその日の状態、体調を観察しながら対応する。 （優先順位、介入のタイミングを考え対応する。）
介護度 1 年齢 88 歳 発見時刻 0:10 (みやこ村)	
内容	リビングの自席左側に長座位で座り込んでいる所を発見する。
原因	・夜勤者はステーション側で記録をしており、リビングは利用者のみであつた。 ・職員が駆け付けた際、椅子が後ろに引いていなかった。席を離れる際、自席から立ち上がり左側に移動したが足が椅子の脚にひっかかり尻もちをついてしまった可能性が考えられる。 ・普段自立歩行であるが、認知症の症状から状況の把握が出来ないこともあり。 食堂のイスやソファに座ってもゆっくりすることなく移動が多いことあり。
対策	・リビングで過ごされている利用者が居る際には、なるべく離れずその場で見守りをする。又見守りが可能な業務を行う。 ・本人にあつた椅子をリハビリ職員に相談し様子観察する。 ・状況に応じて声掛けや居室への案内を行う。

※対策は効果が確認できるまで検証を行い継続して実施していく。又介護計画書にて検証を行っていく。

4/1～5/16

待機者（17名）新規申し込み（1件）

<身体拘束について>

- 身体拘束の適正化に向けて取り組んでいる。身体拘束なし

次回 令和6年度第2回運営推進会議

令和6年7月18日（木）10：00～ 開催予定